

当センターの中西会長、サウジアラビアのムハンマド副皇太子に拝謁 「日本の Strategic Partners に期待」

9月2日に迎賓館で、ファキーフ経済企画相らも陪席



ムハンマド副皇太子殿下に拝謁する当センターの中西宏明会長

当センターの中西宏明会長は、9月2日（金）に東京・赤坂の迎賓館にて、来日していたサウジアラビアのムハンマド・ビン・サルマーン副皇太子殿下に拝謁しました。

まず中西会長から当センターと日本貿易振興機構が前日に東京都内のホテルで共催した「日本・サウジアラビア “Vision2030” ビジネスフォーラム」の話題に触れ、アッサーフ財務相らサウジアラビアの5大臣*と政府高官が同フォーラムにご臨席されたことへの謝意を述べました。そして、「Saudi Vision 2030」への貢献策を編集した冊子「JAPANESE STRATEGIC PARTNERS FOR SAUDI ARABIA'S VISION 2030」を同殿下に献呈し、受領していただきました。

その際中西会長は、今後さらに多くの日本企業が「戦略的パートナー」として名を連ねることになると期待しており、当センターとしてもそれらの企業を積極的に支援していきたいと述べました。

これに対し同殿下からは、「日本の Strategic Partners 企業に期待をしており、今後それらの企業と双方でフランクに話せるような機会を増やしていくことが重要。訪日の機会を増やしていきたい」とのご発言がありました。

さらに中西会長は、日本には水や電力の分野で優れた製品・サービスや技術があることや、交通インフラや医療、プラント・公共施設等のセキュリティ分野で紹介できるものが数多くあることなど、日本が貢献できる分野について触れた一方、日本企業が有能なサウジ人の採用や教育・訓練で苦勞していることなどにも触れ、サウジアラビア政府ともよく話し合っていきたいと述べました。

なお、同副皇太子殿下の拝謁では、カサビ商業投資相、ファキーフ経済企画相、ファーレハエネルギー・産業・鉱物資源大臣、ヒクバーニ労働・社会発展大臣の4大臣ほか陪席しました。

今回の拝謁を通じて、当センターとサウジアラビアの協力関係がますます強固なものになっていくものと期待しています。

* 5大臣：アッサーフ財務相、カサビ商業投資相、ファキーフ経済企画相、ファーレハエネルギー・産業・鉱物資源相
ヒクバーニ労働・社会発展相